第6章 関係諸国間の研究パートナーシップの概要

本研究では、陸域からの汚濁負荷モデルと海洋海流シミュレーションを用いて、日本近海に流入する汚濁負荷 量及びその挙動の予測を行い、所定の成果は得られたが、調査を進めていくにあたり常に課題となったのが、解 析の拠り所となる水質・水量等のモニタリングデータの収集及びその信頼性の確保である。

各国毎に、水質モニタリング等の収集方法も違えば、収集時期も異なるため、データを日中韓露の 4 カ国で統一して解析に用いることは非常に困難であった。

本研究で開発した手法を用いて、日本近海における海洋環境の保全を推進していくためには、日中韓露の 4 カ 国が継続的に水量・水質モニタリングデータを収集していくことはもちろんのこと、4 カ国がそれぞれ収集した水 量・水質モニタリングデータを共有していくことが重要である。このことは、国際会議に出席いただいた海外の 先生方からも指摘を頂いているところである。

これらの問題意識を踏まえ、2011 年 2 月 9 日に行った国際会議では、日中韓露の研究者同士による日本近海海洋環境保全のための研究パートナーシップの具体的なアクションプランとして、各国が保有する日本近海の水質モニタリングデータを継続的に共有していくことについて議論した。招待した先生方からは、その趣旨についてそれぞれ了承をいただき、図-6.3 に示す合意文書に署名をいただいた。(図-6.1、図-6.2)



図-6.1 合意文書への署名

合意文書に記載された文書は以下の通りである。



図-6.2 合意文書への署名

日本近海における海洋環境の保全に関する調査研究について

これまで、我々は、2009 年に国際シンポジウム、2010 年と 2011 年に国際ワークショップを開催し、日本近海における海洋環境保全のための知見の集積に努めてきた。

その結果、各国陸域からの汚濁負荷量の把握、将来予測に基づく海洋海流シミュレーションの実施を通じて、 日本近海における海洋環境保全のための分析ツールを共有することができた。また、その分析ツールを用いることで、将来シナリオ別の汚濁負荷削減対策効果が明らかになった。

今後において、我々は、日本近海における海洋環境保全のため、継続的に調査研究を行い、また、日本近海の 水質データ等の情報交換を 2014 年 3 月末まで行うこととする。

2011年 2月 9日

(中国) 同済大学

李 光明

(中国) 清華大学

杜 鵬飛

(韓国) ソウル市政開発研究院

金 甲守

(ロシア) ロシア科学院太平洋地理学研究所

ウラジミール・シュルキン

(日本) 北九州市立大学大学院

楠田 哲也

(日本) 国土交通省 国土技術政策総合研究所

榊原 隆

RESEARCH PARTNERSHIP ON CONSERVATION OF NORTHWEST PACIFIC MARINE ENVIRONMENT

Tokyo, 9th, February, 2011

We have held yearly international meeting since 2009 to 2011. During this period, we have worked to accumulate knowledge on improvement and conservation of Northwest Pacific marine environment.

As part of this research, analysis tools for estimation of land-based pollution loads and marine environments in the Northwest Pacific regions were developed and these tools were shared among members of the research partnership. Furthermore, we have successively evaluated the effect of several countermeasures against land-based pollutions by utilizing these tools.

For the conservation of Northwest Pacific marine environment, related studies as well as various information exchanges shall be carried out continuously in accordance with the partnership. Especially the exchange of published monitoring data such as river/coastal water quality in Northwest Pacific regions will continue until end of March, 2014.

PhD. Mr. Li Guangming

Professor

College of Environmental Science and

Engineering Tongji University China PhD. Mr. Du Pengfei Associate Professor

The Chairman of the School Council

School of Environment Tsinghua University

China

PhD. Mr. Kap-Soo Kim

(Previous employment)

Senior Research Fellow, Ex-President Metropolitan Planning Research Group

Seoul Development Institute

Korea

PhD. Mr. Vladimir M. Shulkin

Head of Laboratory of Geochemistry Pacific Geographical Institute Far Eastern Research Branch

Russian Academy of Science Russia

PhD. Mr. Tetsuva Kusuda

Professor

Graduate School of

Environmental

Engineering

The University of Kitakyushu

Japan

Mr. Takashi Sakakibara Research Coordinator

Water Quality Control Department

National Institute for Land and Infrastructure

Management

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and

Tourism Japan

図-6.3 研究パートナーシップに関する合意文書の写し(署名省略)